

忘れたくないもの

変わらない木



『おおきな木』
(シェル・シルヴァスタイン/作絵、
ほんだきんいちろう/訳 篠崎書林)
これは、木とある少年の物語。物語は、ナ
レーションで進んでいきます。そんな物語
の、最後の一言を、あなたはどうか受け止める
でしょうか。(昭和女子大 Mさん)

『おじいちゃんの休暇』

(イヴォン・モーフレ/作、末松氷海子/訳 借成社)
60年パンを焼いてきたおじいちゃんが、
故郷に帰ると言いました! とんでもない旅
行に孫のトマもついていくことに。美しい自
然、美味しい食べ物、芽生える友情。その裏
で明らかになるおじいちゃんの悲しい恋の
物語…。人生を振り返る、2人の最高の休暇
旅行にご招待♪ (大田原高 Sさん)



やり残したことは
ありますか?

大切なこと



『わすれられないおくりもの』
(スーザン・パーレイ/作絵、
小川仁央/訳 評論社)
私たちは誰かに支えられて生きてい
るといふこと、また誰かを支えているとい
ふこと。当たり前だけれど、これはずっと
続いていきます。アナグマさんのように、
さげなく誰かを支えられるような人な
って、どんな人でしょうか。(昭和女子大 Mさん)

あなたには忘れたくない思い出はありますか?
甘酸っぱい初恋、熱い友情、辛い失敗、懐かしい故郷、そん
な人生の宝物を集めました。



生きた証

『ひろしま』
(石内都/著 集英社)
焼け焦げた衣服、原形のない腕時計。
戦争を知らない私たちは、この時代を生
きた証を忘れてはいけない。
(栃木農業高 Yさん)



死、そして孤独

『二十歳の原点ノート』、
『二十歳の原点序章』、
『二十歳の原点』(三部作)
(高野悦子/著 カンゼン)
「独りであること」「未熟であること」こ
れが私の原点。自分を動かすものは自
分しかいない。己の世界をどのよう
に築き上げるのか。立ち向かって突き
進め。「ノート」「序章」に続く三部作。著
者の半年間を綴った心の記録、今、読
み継がれていく。(社会人 Sさん)



※著者は
栃木県ゆかりの方です。

気持ち

人はいくつもの「気持ち」を持っ
ています。悲しさ、悔しさ、楽し
さ、嬉しさ…。
そんな「気持ち」を本で感じてみ
ませんか。



『大丈夫!キミならできる!』
(松岡修造/著
河出書房新社)
自分だけでは立ち直れな
い時。誰かに励ましてほしい
時。心の支えがほしい時。そ
んな時、心に染みる言葉をく
れる最高の一冊。熱い思い
のこもった言葉をどうぞ。
(茂木高 Mさん)

『大人になるまでに読みたい15歳の詩』全3巻
(ゆまに書房)
今、この時にしか感じることのできない感動が
味わえます。この本を手にとれば、たくさんの詩か
ら自分だけにしか共
感できない詩がある
のでは…。
(矢板中央高 Rさん)



前へ進む
エネルギーを

共感されたい

運命を変えるのは
自分だ



『93番目のキミ』
(山田悠介/著 文芸社)
俺の相棒のロボットのシ
ロは、普通のロボットなんか
じゃない。困っている人のた
めならどんなことでもして
のける。笑っても涙も感動も味
わえるこの本を、絶対に読ま
ずにはいられない。
(真岡女子高 Mさん)



『失敗の整理術』
(中田宏/著 PHP研究所)
著者の中田宏氏は政治家
としての業績で有名である
が、ネットによる誹謗中傷を
受けた先駆けの人でもあ
った。本書ではこのような挫折
や失敗の数々をどのように
克服していったかを余す所
なく公開している。また、風
邪をひかない方法も語られ
ており、受験生必見。
(社会人 Aさん)

失敗と向き合う勇気

『黒ねこのおきやくさま』
(ルース・エインズワース/作、
荒このみ/訳、山内ふじ江/絵 福音館書店)
一人の貧しいおじいさんの所にやってきた痩せ
た黒ねこ。ミルクを与え、貴重な食料を与え、おじ
いさんはねこのために全てを無くしたかと思えたの
だが…。心温まるこの本の表紙をあなたはきっとめ
ぐるだろう。
(真岡女子高 Mさん)



猫も人も
同じ命だから。